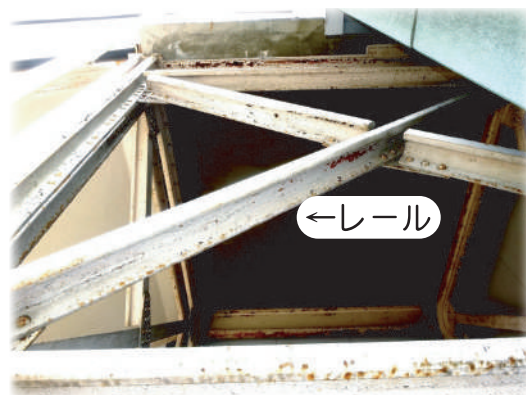




～2月定例議会で行った一般質問をお知らせします～

1 東青梅駅の北口にエレベーターの設置を！

党青梅市議団は、東青梅駅北口のエレベーターの設置を平成18年から求めてきました。しかし、エレベーターの設置は駅舎の増築となるため、駅舎の耐震・耐火の構造が現行の法律の基準を満たしていることが必要で、設置するには駅舎の全面的な改修が必要との判断が示されました。そこで市は駅舎の建て替えに合わせてエレベーターを設置する方向で取り組んでいくことになりました。現在の東青梅駅舎は昭和39年に建てられ半世紀以上経過しています。重量が約180トンの駅舎を支えている柱や梁（はり）はなんと、線路のレールが使われており、長い間風雨にさらされ、いたるところでさび付いています。一定の補強をしているようですが心配です。早急に駅舎を建て替えてエレベーターを設置することを求めました。



1日も早く駅舎の建て替えの具体化を！

質問 せめて、建て替えの施工時期だけでもJRと協議して明らかにしてほしい。JRとの協議はどの程度進んだか。

答弁 現時点で建て替えは計画していない。

質問 駅舎の建て替えの際は市の税金から、いくらか支出することを考えているか。

答弁 一定の負担は想定しているが、現時点で建て替え計画が具体化されていないことから費用負担の検討には至っていない。

駅舎の老朽化について

質問 なぜ、駅舎の柱や梁（はり）に建築資材ではない線路のレールを使ったのか。

答弁 当時の記録は不明だが、当時国鉄は建物に古いレールを再利用していた。

質問 駅舎を支えている線路のレールがさび付いていることについて、どのように認識してるか。

答弁 レールの内部まで侵食している腐食は確認できない。

質問 Is値はどれくらいか。 **答弁** 0.6以上を確保。

2 中央図書館の駐車場1時間無料サービスの廃止は困る！

質問 駐車場1時間無料サービスを継続してほしいが、無理なら何らかのサービスの充実を。

答弁 本サービスを終了し捻出した財源により新たに小中学校の学校図書館支援を進めていく。

※みねざきコメント 学校図書館支援は当然だけど、中央図書館のサービス充実のことも考えて！

3 青梅市民センターの図書館の存続を！



質問 来年4月に閉鎖予定の青梅市民センターの図書館と学習室を残してほしいが、どのように考えるか。

答弁 新しい施設（青梅駅前の再開発ビル）が完成するまでは現行の施設で図書館の機能を維持していく。

※みねざきコメント 青梅駅周辺から図書館が無くなってしまおうところでしたが、一安心しました。

ケミコン跡地の新施設は市民の声をもっと聞いて

～公共施設は統廃合ではなく長寿命化で大切に～

今後2年かけて整備基本計画を策定

3月8日、市議会本会議で、東青梅1丁目地内諸事業用地(ケミコン跡地)等の利活用に関する構想が採択。日本共産党青梅市議団は市民の声とかけ離れていると考え反対しました。事前のパブリックコメントで、61人から259件の要望・意見が寄せられ、以下のような主な意見が出されました。

- ①ホールは雑壇式にしてほしい
- ②児童館を設置してほしい
- ③子育て支援機能設置に伴い、新町、東青梅の子育て機能や既存施設（東青梅市民センター、小曾木、沢井保健福祉センター等）を廃止しないでほしい
- ④市民の意見をもっと聞いてほしい
- ⑤地元企業を活用してほしい

「市民の意見をもっと聞いてほしい」という声が多く出されていることを重く受けとめるべきです。特にホールの平土間化は体育館にパイプ椅子を並べるようなイメージで、音楽や演劇の鑑賞といった文化芸術活動の空間とはほど遠いものになっています。議論も説明も圧倒的に不足しています。

公共施設のあり方としては「長寿命化」こそが重要であり、統廃合に重点を置くべきではありません。左記の主な意見にある、市民の暮らしに必要な既存施設をなくすわけにはいかないと市民運動が起きていますので、私たち市議団は市民と連帯してがんばります。



新生涯学習施設は新築工事中、来年4月に完成予定

平成30年度予算(一般・国保・介護・後期・競艇)に反対しました

子育て支援は不十分

保育園の待機児は、3月1日現在で130人。その内110人が0歳児。待機児解消を。自転車で通学している中学生への補助制度を新設すべき。

公共交通も不便

西東京バスの河辺駅南口から市民斎場までの路線が廃止となり、ますます不便に。コミュニティバスやデマンドタクシーを検討すべき。



値上げしたもの

反対!

国民健康保険税

所得割・均等割・限度額の引き上げで、一人当たりの平均は年間97,358円から101,676円になり、4,318円の値上げ。平均5%の増。

介護保険料

65歳以上の基準額は年間57,600円から60,000円になり2,400円の値上げ。

後期高齢者医療保険料

1人当たりの平均保険料は年間95,492円から97,127円となり、1,635円の値上げ。

不要不急の開発は問題

青梅インターチェンジ北側の都内最大級の農地は物流拠点ではなく、都市農業の発展を。都市計画道路新奥多摩街道線築造経費として3億円余を予算計上。青梅駅前の再開発事業に建物調査などで4200万円余の予算計上。

学校の統廃合計画は市民の声を十分に反映を

集約化、複合化、児童生徒数や適正学級数など学校施設の在り方についての検討が始まる。

削減したもの

反対!

敬老金

90歳で5千円、100歳で1万円支給していたのを、90歳の敬老金は廃止して、100歳の敬老金を3万円に引き上げ、結果137万8千円の削減。

障がい者交流バスハイク

障害者団体連合会で毎年行っていた、バス旅行の廃止で、33万5千円の削減。

保育士支援

都の補助金を使って増えたものもありますが、市保育士加算補助は4千万円の削減。